

アビリンピック福岡2026(第48回福岡県障がい者技能競技大会)

《 製品パッキング競技 競技課題 》

1 製品パッキング競技とは

緩衝材や箱など組立や製品梱包について、作業の早さ、正確さ、品質を競う競技です。

2 競技課題について

課題	内 容	作成数	競技時間
1	緩衝材の組立・結束	16セット(4束)	25分
2	小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包	2梱包(2箱)	40分

※ 課題1 1束=(緩衝材A×4個・緩衝材B×4個)

※ 課題1で組立・結束した緩衝材は課題2で使用します。(不足分は事務局で補充します。)

※ 説明図の折りかたは一例です。他の折りかたや手順でも、品質に影響がなければ、審査の減点対象にはなりません。

3 競技のながれ

競技全体の説明	5分	※ 競技当日に練習する時間は設けていません。
課題 1	説明	5分
	材料の確認・準備(各自)	2分
	競技	25分
休憩	※ 課題1 審査・採点	40分
課題 2	説明	5分
	材料の確認・準備(各自)	2分
	競技	40分

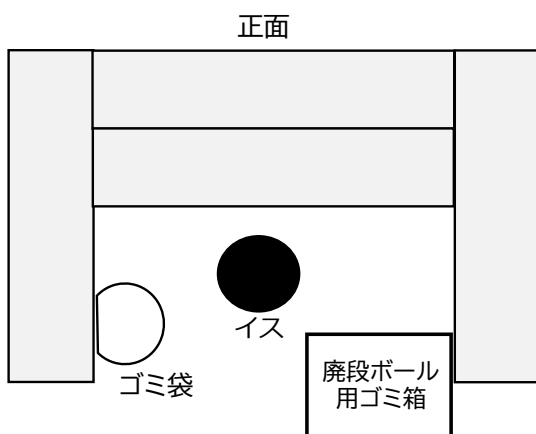
4 競技時の服装

- 1)手袋を着用
- 2)作業着や運動着などの動きやすいもの(スカートや短パン、スリッパやサンダルなどは不向き)
- 3)指輪、ピアスなどの装飾品は外す、または持ち込まない

5 選手が用意するもの

- 1)手袋 2双(予備1双を含む)
- 2)飲み物(熱中症対策) ※競技中は作業机の上には置かないこと

6 競技レイアウト



- ・机4台をコの字型に設置
- ・材料を置く位置、作業エリアは自由
- ・イス、ゴミ袋、廃段ボール用ゴミ箱は移動可
- ・競技中は立ち作業、座り作業のどちらでも可
- ・材料は作業台の上に置くこと
(外箱のみ床置き可)
- ・各自材料を作業しやすいように並べる

7 主な審査ポイント (正確さ・品質の詳細については競技課題の説明図を参照)

課題1 緩衝材の組立・結束






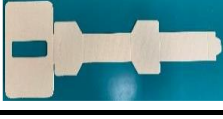

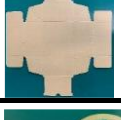

①	制限時間	・ 25分の制限時間内に32個の組立、4束の結束 ※1束(緩衝材A 4個、緩衝材B 4個) x 4束
②	結束の品質	・ 8個ずつずれなく、角できれいに結束されている ・ 緩衝材は説明図通りの向きになっている ・ 結び目の長さ: 8cm以内 ・ 緩衝材の端から結束位置まで: 10cm以内 ・ 紐を持ち上げたとき、紐と製品の間隔: 5cm以内
③	外観の品質	・ 折れ、へこみ、切れなどが無い
④	組立の品質	・ 差込不良、折不良、形成不良などが無い
⑤	材料・組立/結束品の置き場所	・ 終了時、全て作業机の上であり、床に落下していない
⑥	清掃・清潔	・ 材料、ごみ、備品などが床に落下していない

課題2 小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

①	制限時間	・ 40分の制限時間内に2梱包(2箱)の組立・梱包
②	包装テープ貼り付けの品質	・ 説明図通りの貼り位置: 24mm±10mm ・ 汚れ、破れ、しわがない
③	外観の品質	・ 各々の製品外観に汚れ、破れ、へこみなどが無い
④	緩衝材、箱の梱包品質	・ 説明図通りの数量になっている ・ 説明図通りの向きになっている
⑤	外箱(完成品)の置き場所	・ 敷き紙から、はみ出さないように設置されている
⑥	材料・組立/梱包品の置き場所	・ 終了時、外箱以外の物が床に落下していない
⑦	清掃・清潔	・ 終了時、型抜きのかずや紐、ごみが作業机の上になく、床にも落下していない

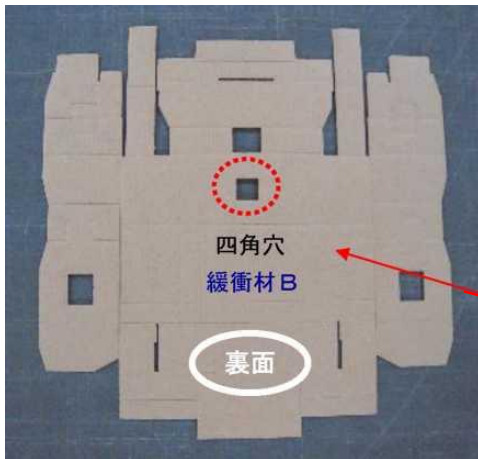
8 競技資材について

競技時、作業エリアに準備されているものは以下のとおり。

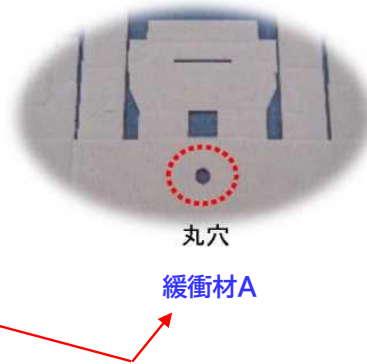
課題	材料・工具他	数量	単位	備考
1	緩衝材A(○) 	16	枚	
	緩衝材B(□) 	16	枚	
	結束紐 	1	巻	
	くちばしカッター 	1	本	
2	外箱 	2	枚	
	小箱 	8	枚	
	中箱 	8	枚	型抜き前のもの (写真は型抜き後)
	化粧箱身 	8	枚	型抜き前のもの (写真は型抜き後)
	化粧箱蓋 	8	枚	型抜き前のもの (写真は型抜き後)
	包装テープ (OPPテープ) 	1	巻	テープカッター付き
	敷き紙	1	枚	床に敷き、完成品を乗せる
共通	廃段ボール用ゴミ箱	1	箱	型抜きくずの段ボールごみを入れる
	ゴミ袋(透明ビニール袋)	1	袋	結束紐、OPPテープなどのくずを入れる

【競技課題1】 緩衝材の組立・結束

展開図



※罫線(折れ線)が見える方が裏面になる



※緩衝材は2種類ある

完成図

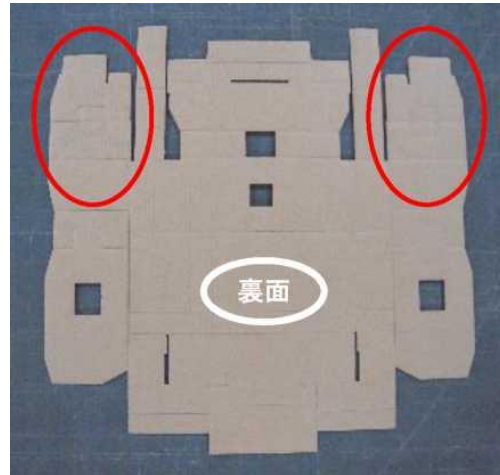


組立完成図

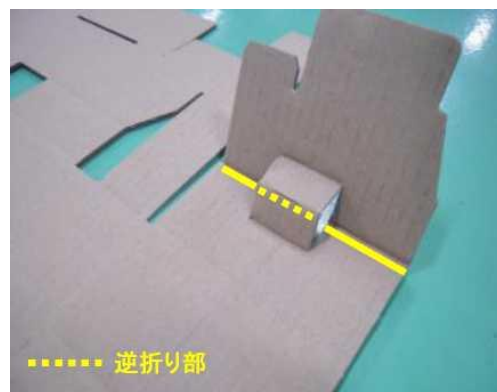


結束完成図

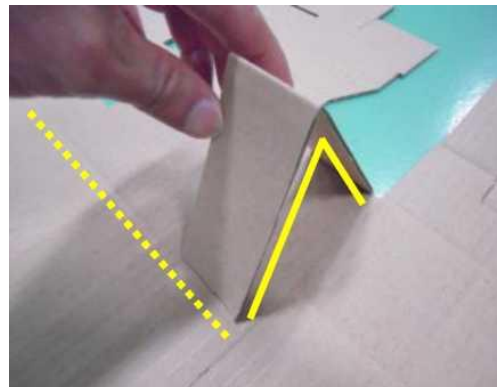
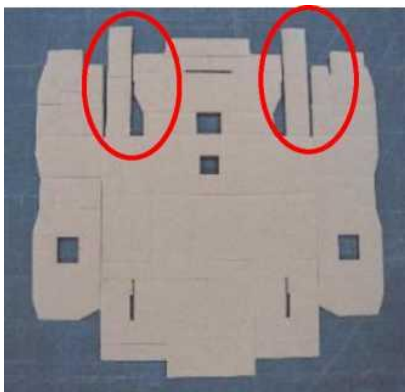
- 1 緩衝材は2種類あるが、基本的な折り方は共通。(写真は緩衝材B)
緩衝材の裏面を上にし折る。
最初に○印の箇所から折る。



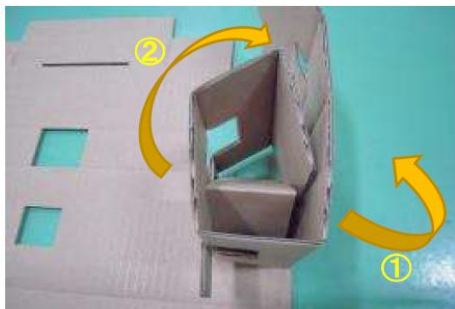
- 2 本体の袖部分2か所に折り癖を付ける。



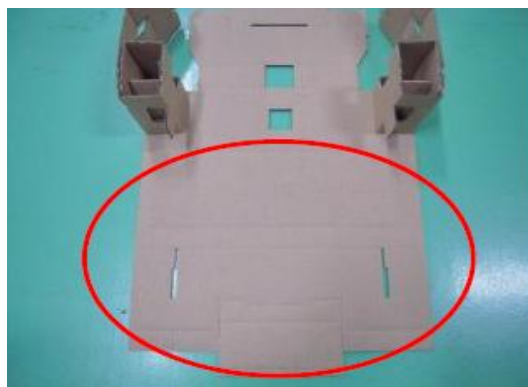
- 3 ○部を点線部分の罫線に合わせて折り込み、三角をつくる。



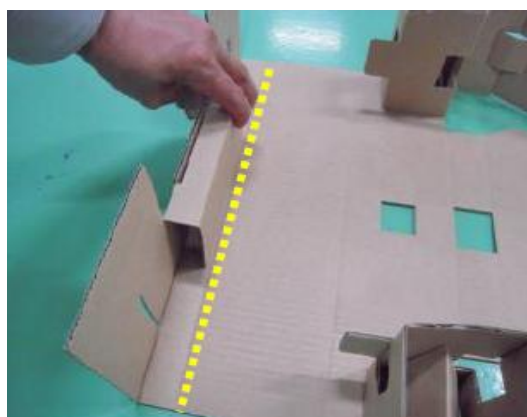
- 4 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に巻き付けるように折り込む。



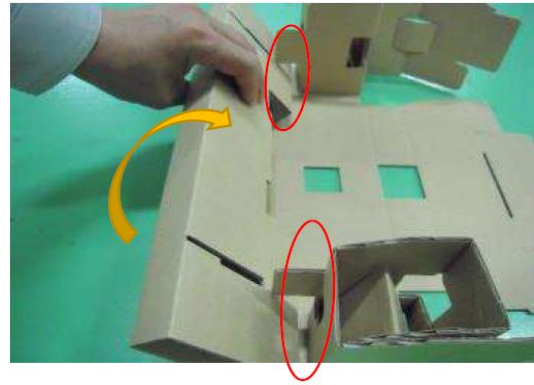
- 5 ○で囲んだ部分を折る。



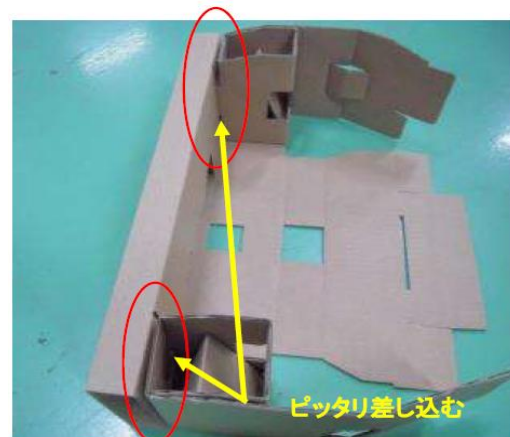
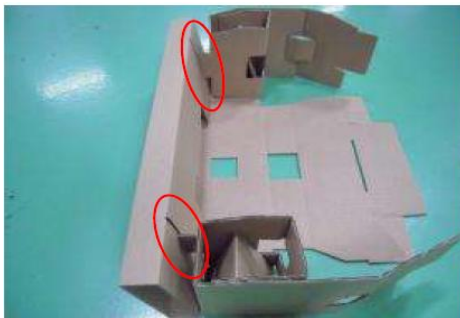
- 6 中心部を点線部の罫線に合わせ折る。



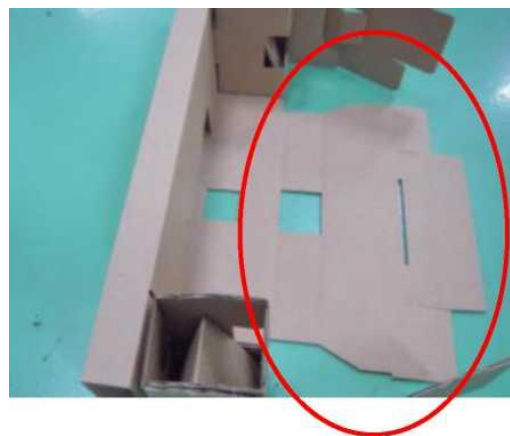
- 7 両端先端部を折り込み、全体を矢印方向に立ち上げながら折り込む。



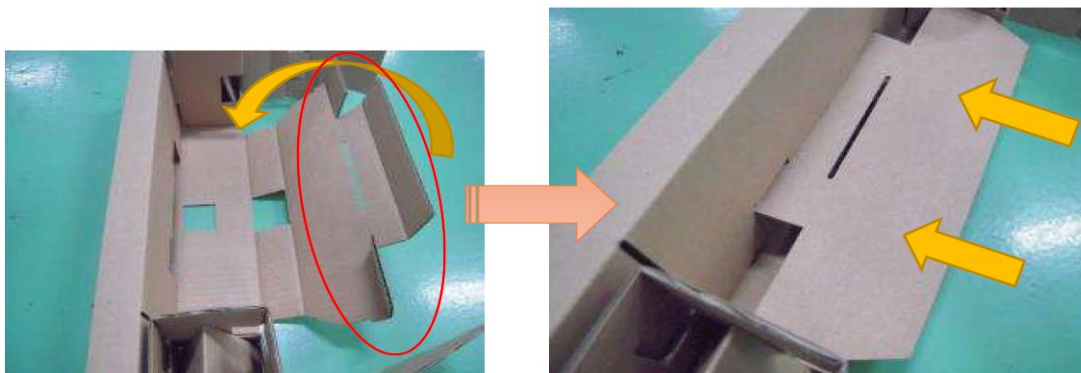
- 8 穴部に袖部分の凸部分を差込ながら全体を立ち上げ折り込む。



- 9 ○で囲んだ部分を折る。



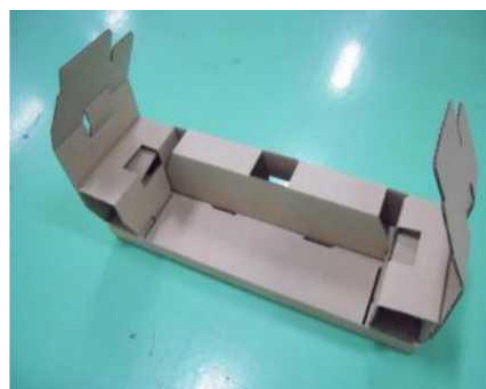
10 先端部3か所を折りながら、矢印方向に折り込む。



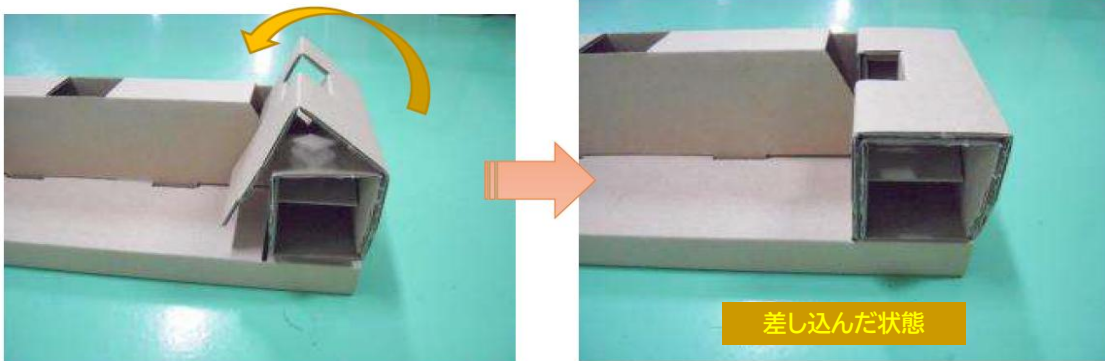
11 全体を折り込み、本体にピッタリと押し込む。



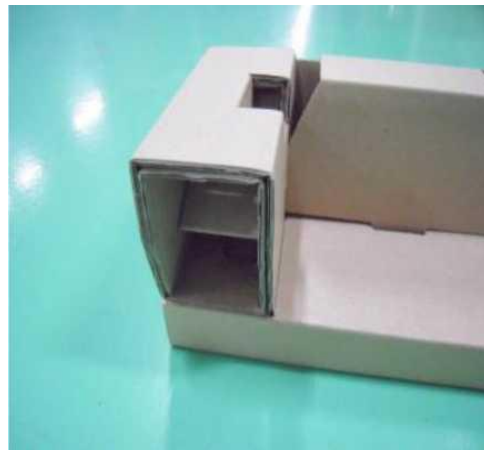
12 袖部が上にくるように向きを変える。



13 袖部を罫線に合わせて折り込み、先端部を本体に差し込む。



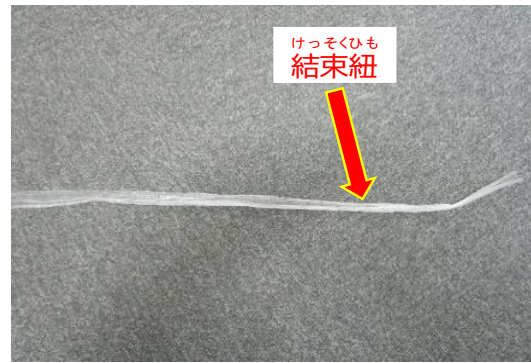
14 反対側も同様に、本体に差し込む。



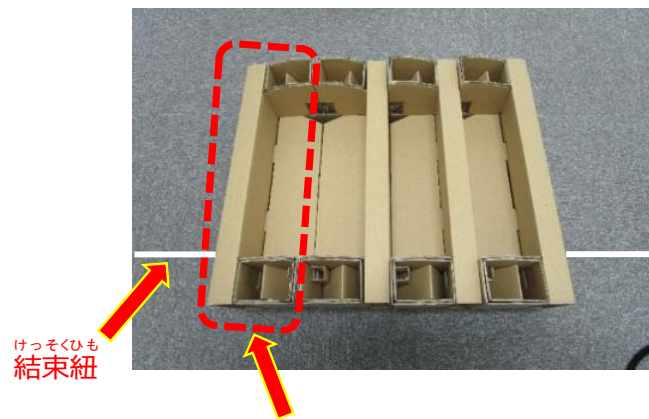
15 はじめに折った三角部分が正確に三角になっているか確認し完成。これを緩衝材Aと緩衝材Bそれぞれ4個ずつ完成させる。



16 作業台に結束紐を可能な限り直線に置く。



17 設置した結束紐の上に緩衝材4個を
結束紐が端側位置にくるように置く。
置く際は○口穴が下にくるように置く。



1つだけ向きが違うので注意

18 17で置いた緩衝材と異なる緩衝材
(○穴であれば□穴、□穴であれば○穴)を
4個、穴が上にくるように置く。

※2種類(○4個、□4個)で結束
○と□の配列(向き)注意



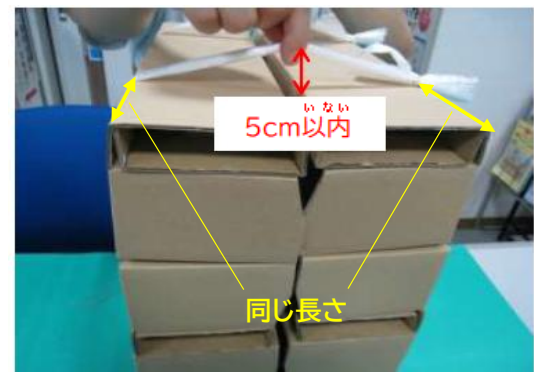
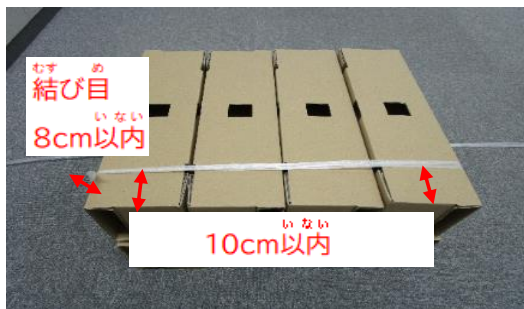
1つだけ向きが違うので注意

19 緩衝材の端から10cm以内の角で結束する。

結び方は自由。

ただし、8cm以内の結び目で容易に解く事が可能な結び方にする。

また、緩衝材の端から紐までの長さが同じ状態で持ち上げたとき、製品と紐の間隔が5cm以内になるようにする。



※課題2では、自ら結束した緩衝材の紐を解いて使用する。

20 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の端にくるように設置する。



21 緩衝材の角で結束し完成。



※例として横に置いた状態での結束方法を紹介しているが、縦に置いた状態での結束でも可。

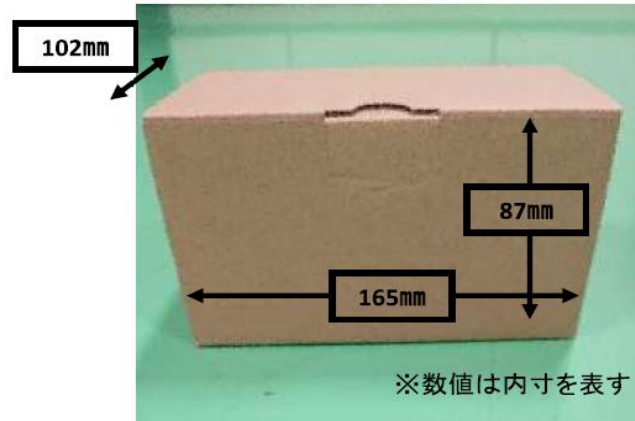
**【競技課題2】小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包(1)**

小箱展開図

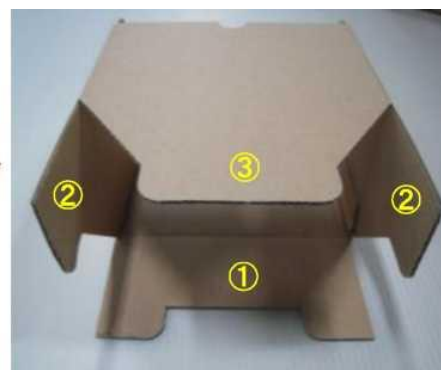
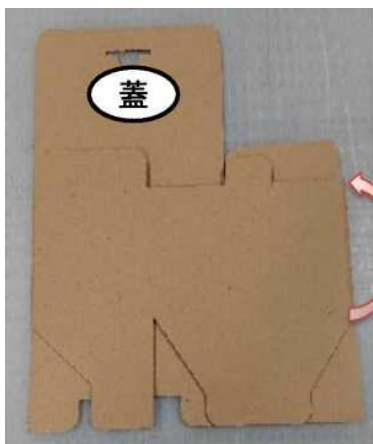


※罫線(折れ線)が見える方が裏面

小箱完成図

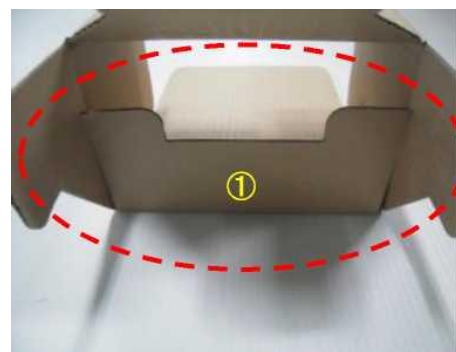


1 蓋を下にした状態で、本体を立ち上げる。

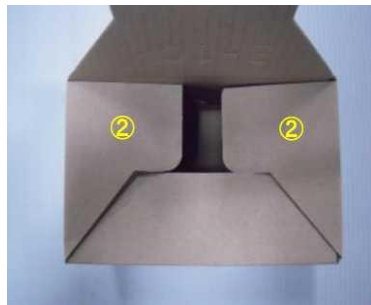


本体を立ち上げた状態

2 ①の蓋側底フラップを内側に折る。



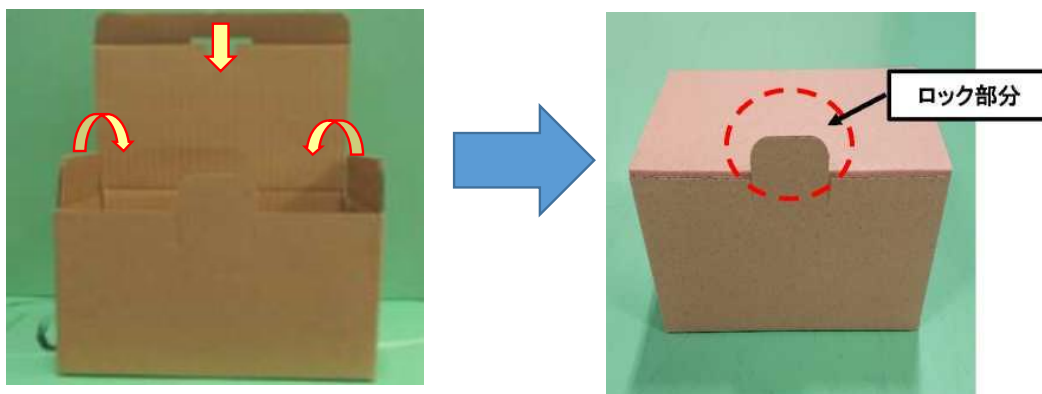
3 ②のフラップ2か所を内側に折る



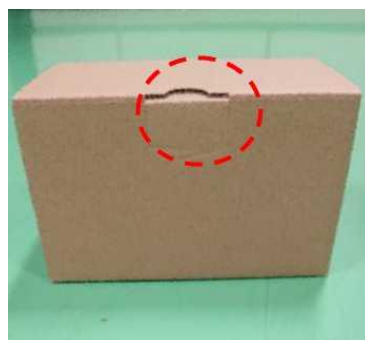
4 ③のフラップを内側に押し込み、底部が完成。



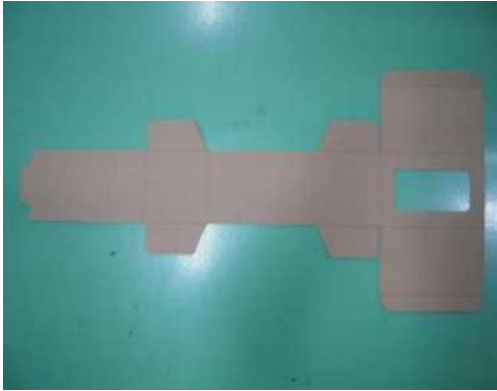
5 内フラップ2か所を内側に折り蓋をする



6 最後にロック部分を挿入し完成。



中箱展開図



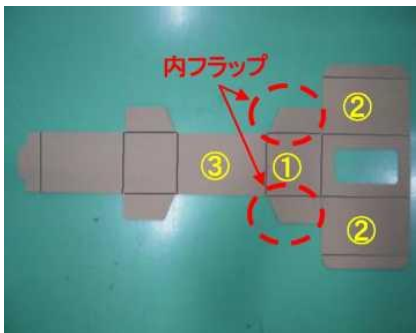
中箱完成図



※罫線(折れ線)が見える方が裏面。

※競技材料はカットのみの材料であるため、屑取り作業が必要となる。

- 7 ①の面を立ち上げ、内フラップ部分を内側に折り
その後、②の面を立ち上げ先端部分を内側に折る。



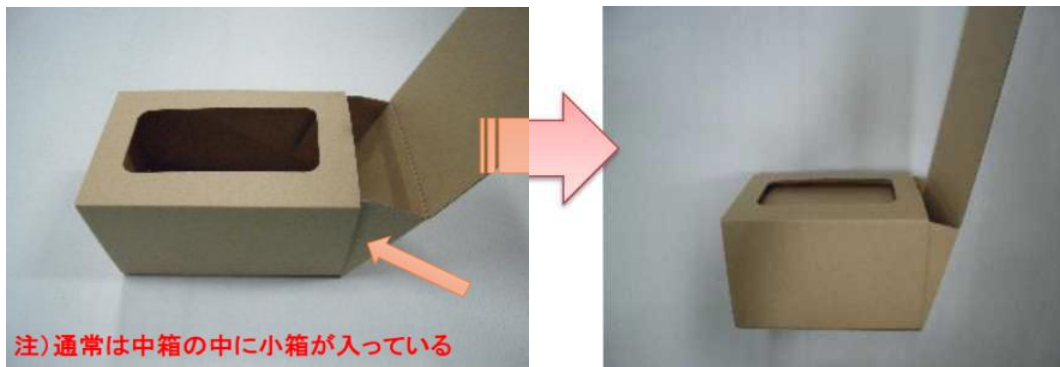
- 8 ③の部分を罫線(折れ線)に沿って折り、
③の部分を下に向きを変える。



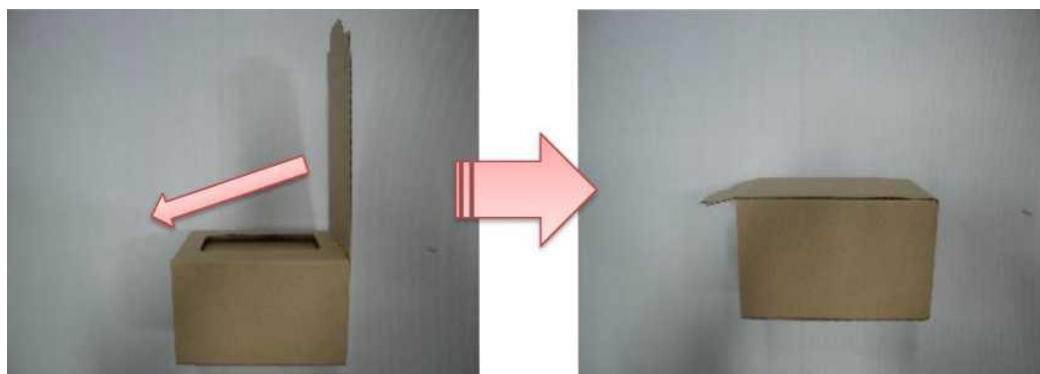
- 9 中箱の中に小箱を写真のように入れる。
その際、中箱の穴から小箱の底が見えない
ように小箱の向きに注意する。



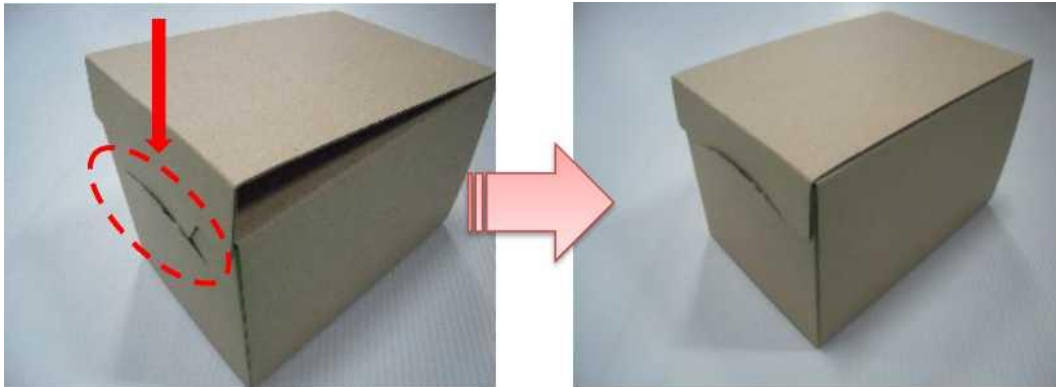
- 10 フラップ部分2か所を内側に折り、本体の中に
折り込む。



- 11 中箱の天面を本体に向かって折る。



- 12 最後に天面先端の差込部を本体の
切れ込み部に挿入し完成。



【競技課題2】小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包(2)

化粧箱身展開図



化粧箱身完成図

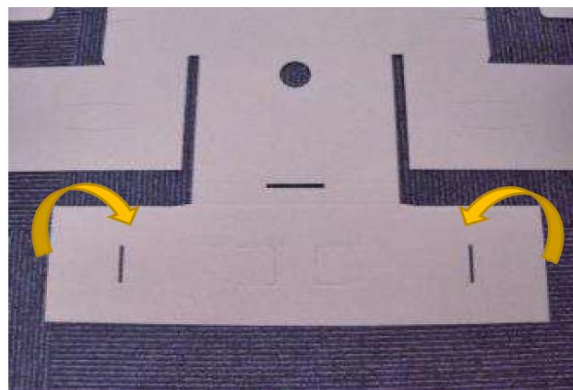
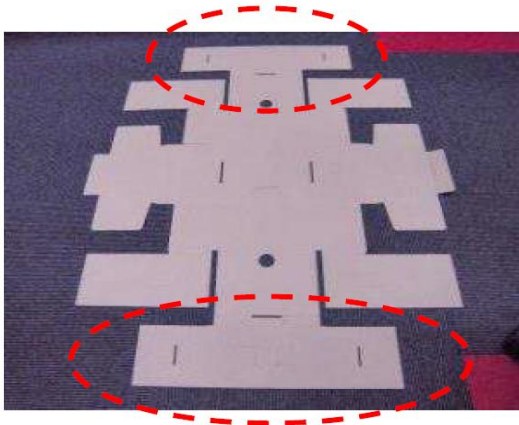


※罫線(折れ線)が見える方が裏面。

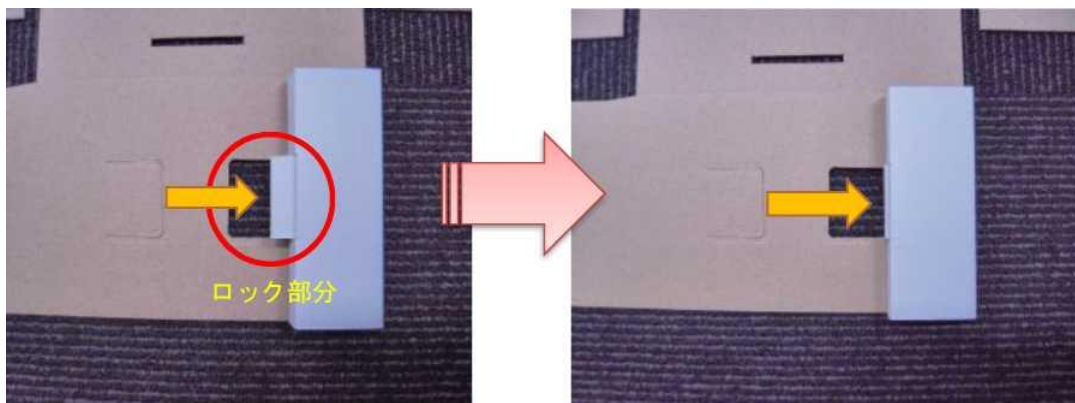
※競技材料はカットのみの材料であるため、屑取り作業が必要となる。

1 はじめに丸印の部分を折る。

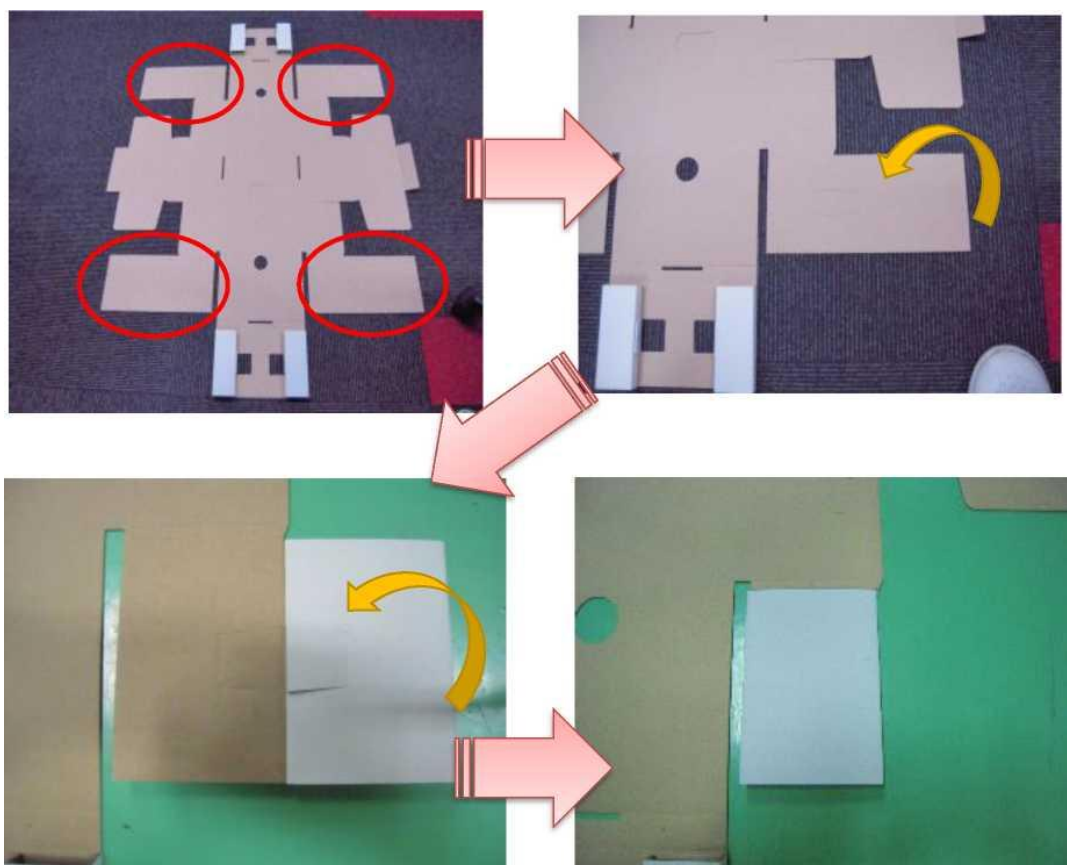
端の部分を内側に巻くように罫線に合わせて折る。



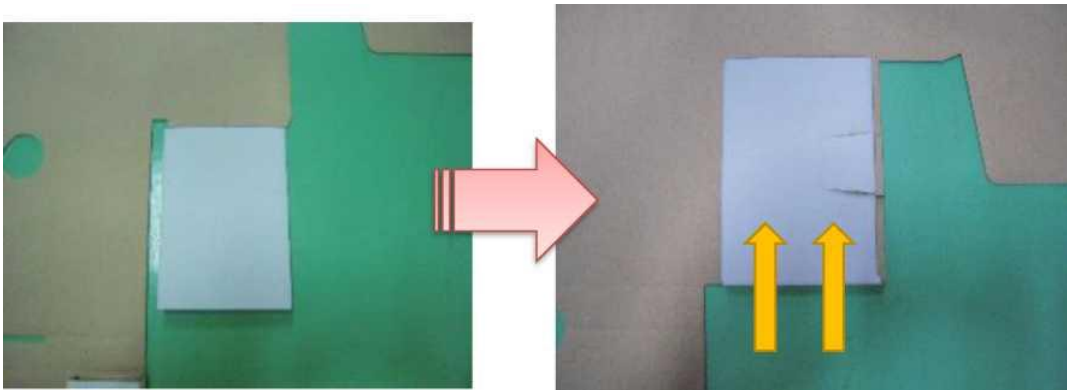
- 2 折った部分の穴に、ロック部を下から立ち上げ差込む。
これを計4か所、同様に折る。



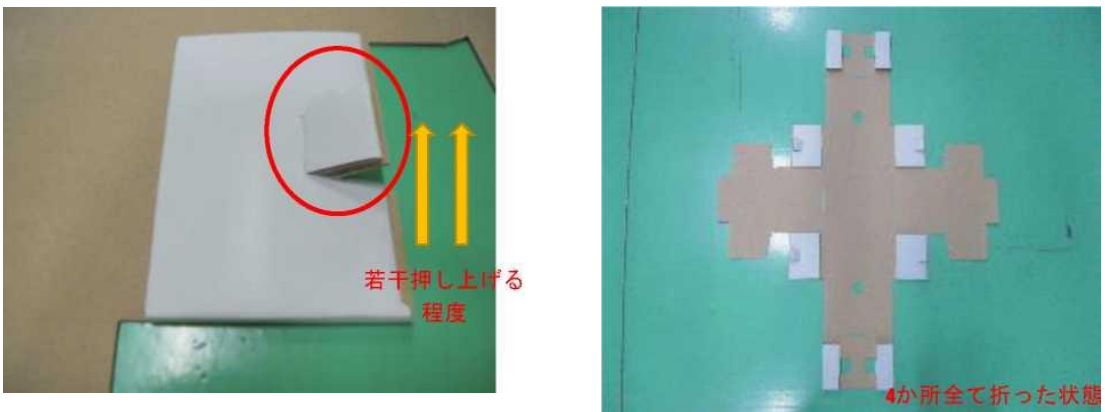
- 3 丸印の部分から端から罫線に合わせ内側に折る。



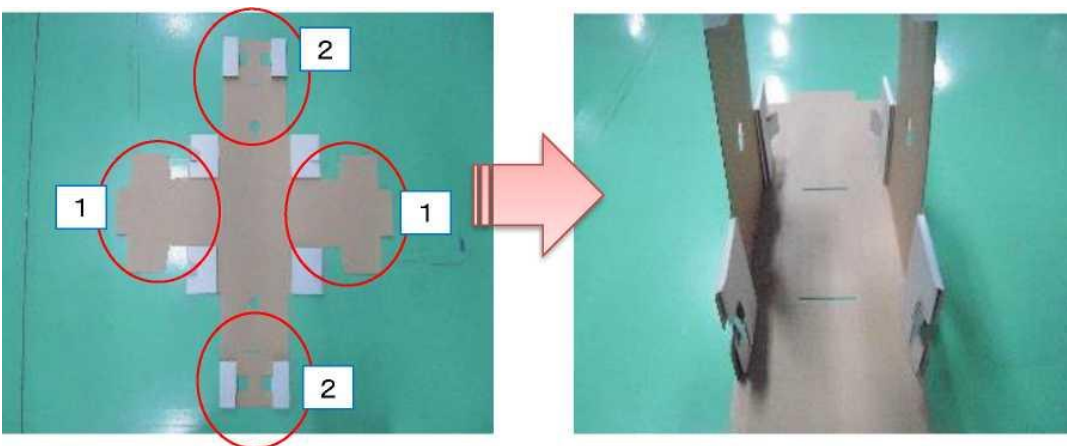
4 本体中心に向かって罫線に合わせて折る。



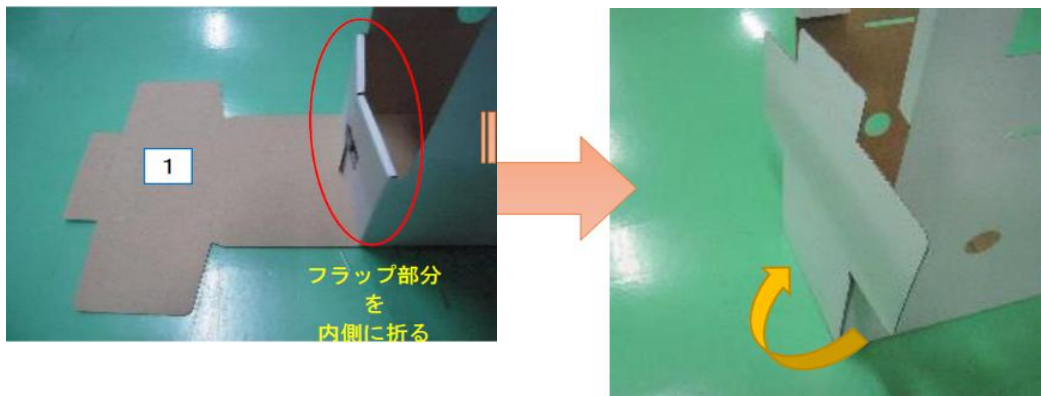
5 ロック部分を下から押し上げロックする。
これを各部、計4か所同様に折る。



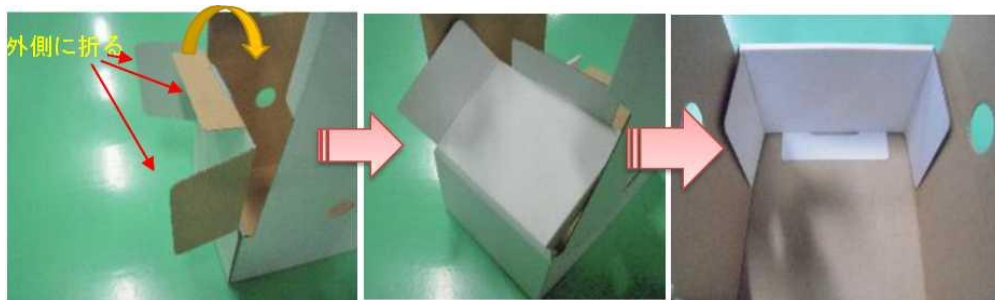
6 2の部分を持ち上げる。



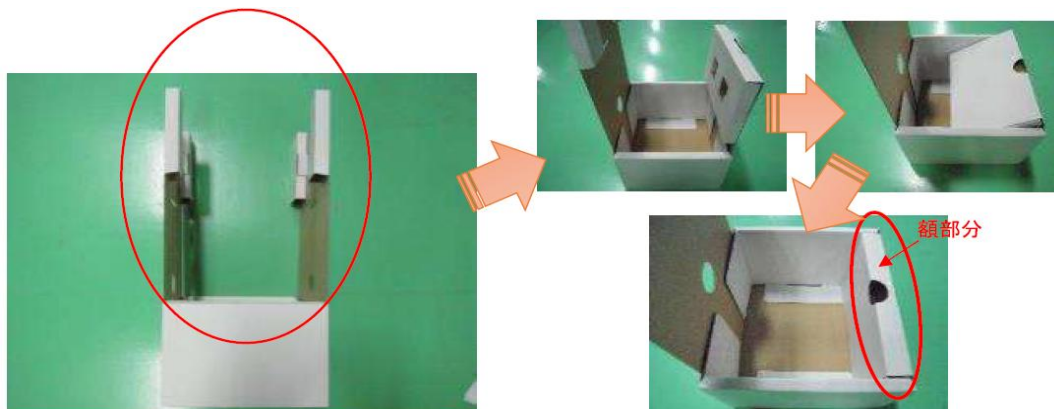
7 フラップ部分を内側に折り、1の部分を立ち上げる。



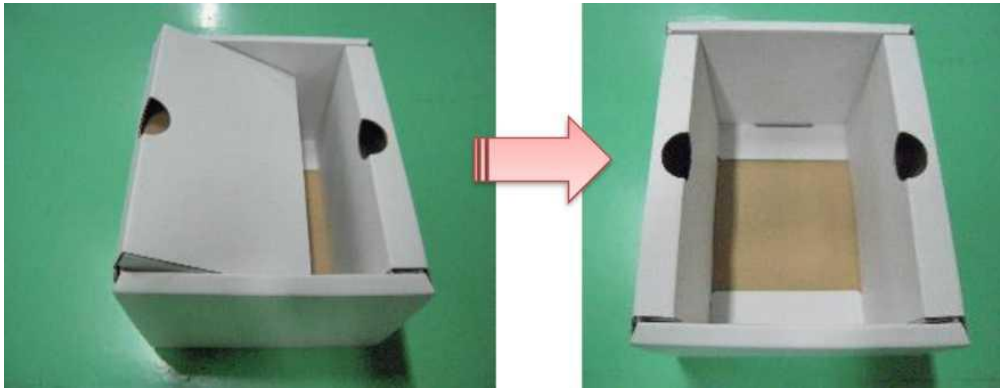
8 1の部分の先端を外側に3か所折り、
本体内側に折り込む。反対側も同様に折る。



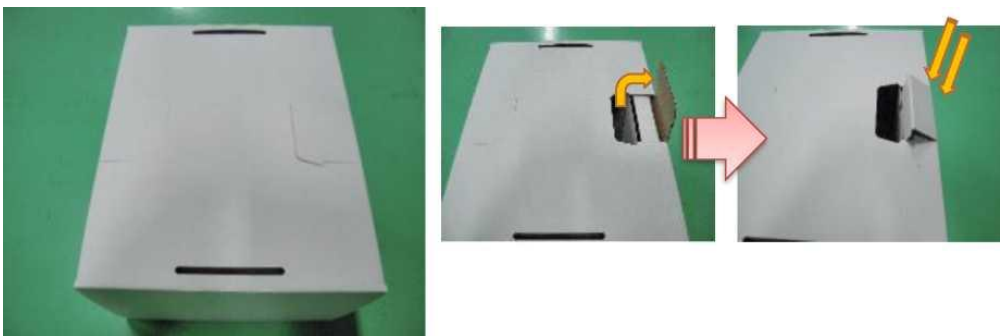
9 2の端の部分から罫線に合わせ折り、
額の部分が平らになるまで折り込む。



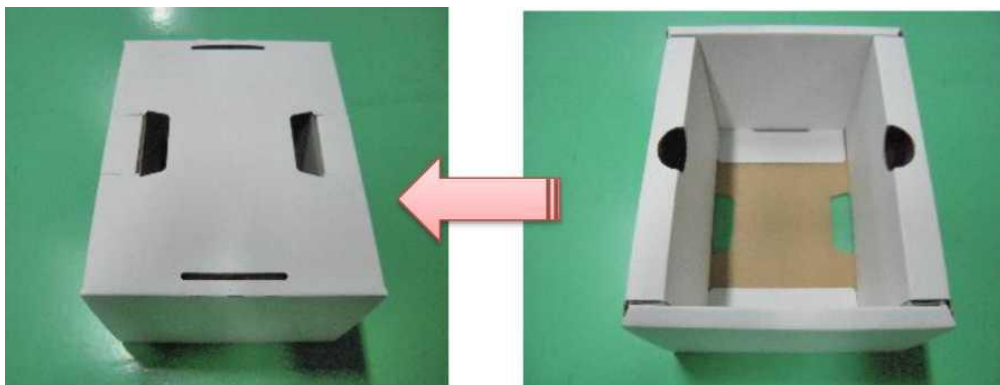
10 反対側も同様に折る。



11 裏(下)側を上にし、ロック部分を裏側から押し出し、2の穴に挿入する。
反対側も同様に穴に挿入する。

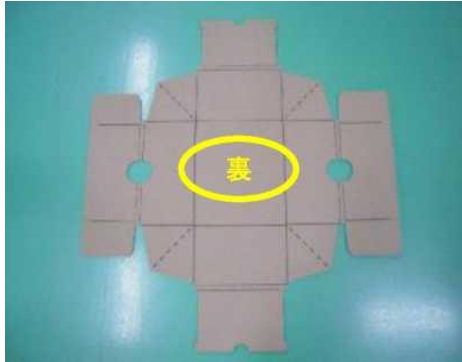


12 2か所のロックが出来たら、底部を下に向きを変え完成。



**【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包(3)**

化粧箱蓋展開図



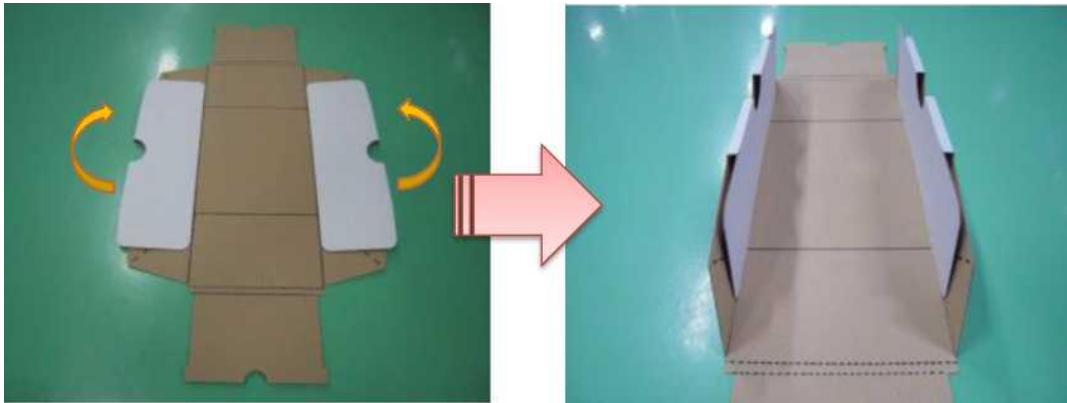
化粧箱蓋完成図



※罫線(折れ線)が見える方が裏面。

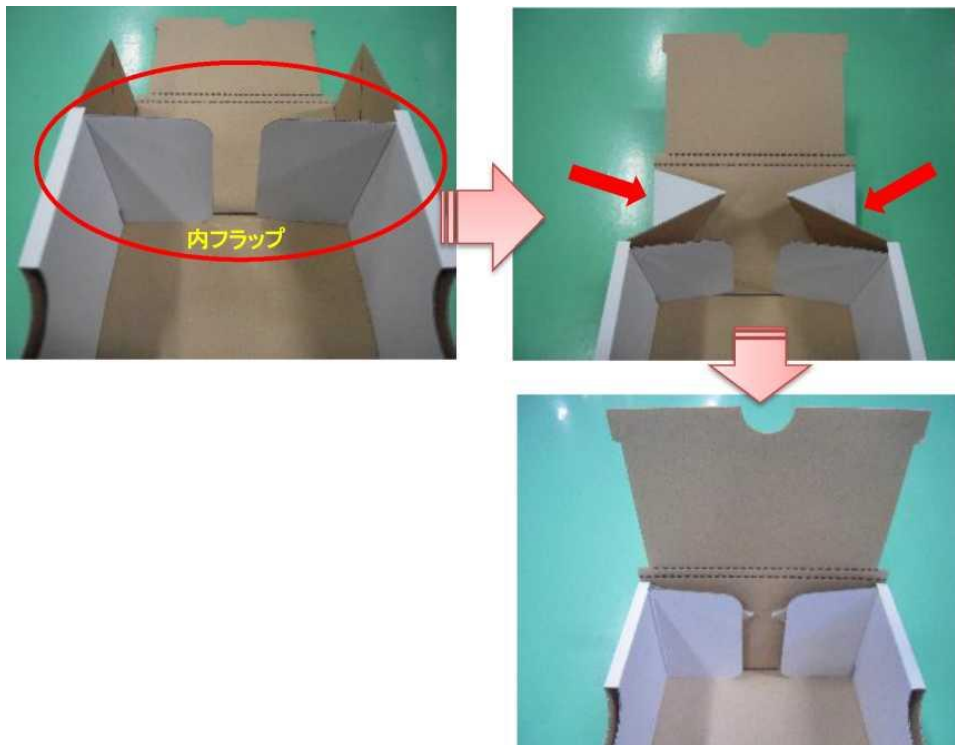
※競技材料はカットのみの材料であるため屑取り作業が必要となる。

1 額部分を内側に折り、額部分全体を立ち上げる。

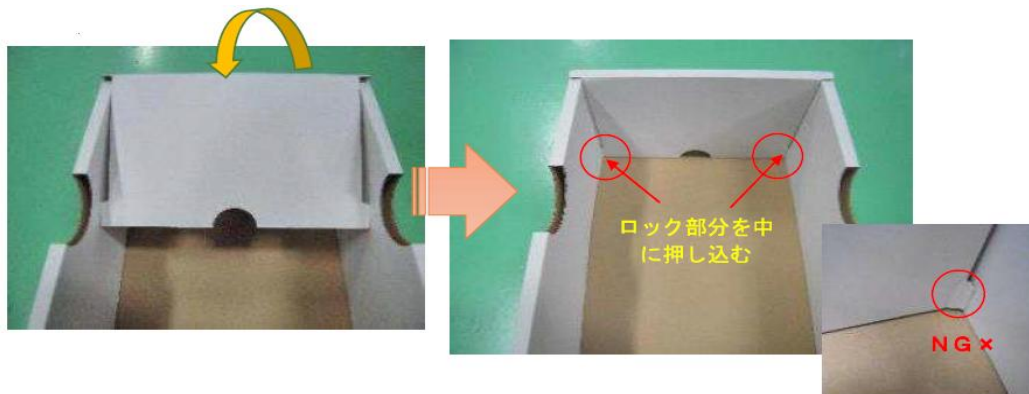


2 内フラップを内側に折る。

その後、外側フラップのミシン目を内側に折りながら、側面を立ち上げる。



3 側面を内側に折り込み、ロック部分を中心に押し込む。

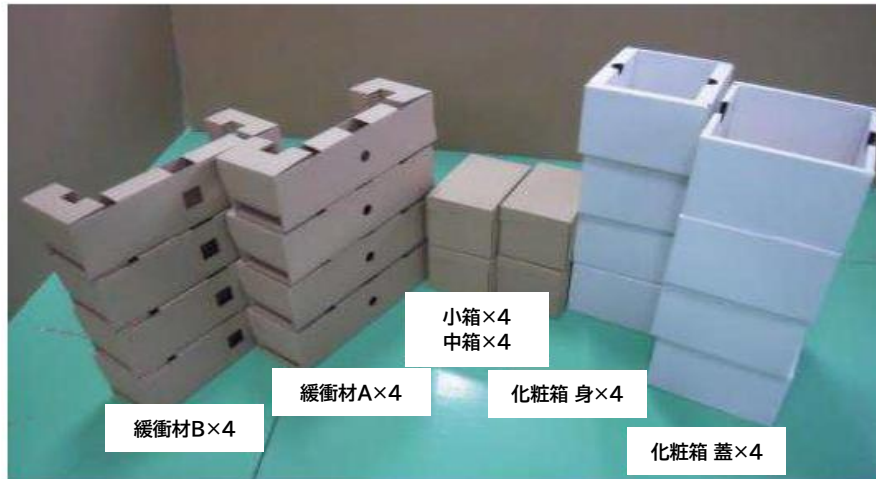


4 反対側も同様に折り完成。



**【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包(4)**

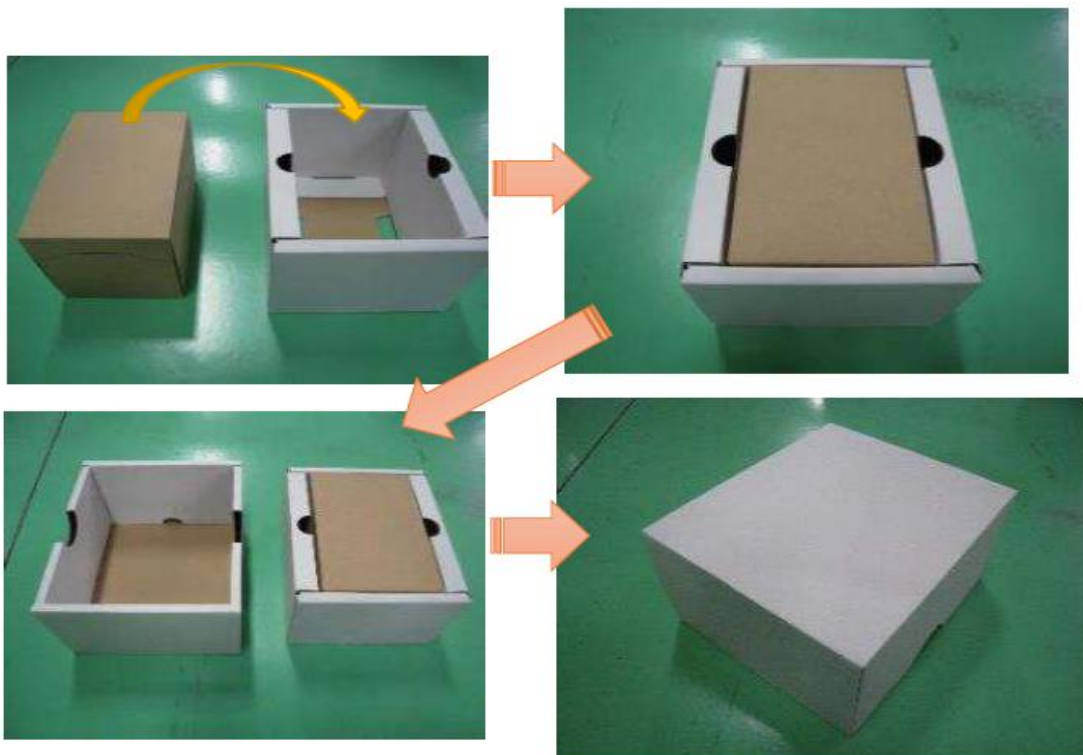
梱包部品一覧



※上記部品は外箱にセットアップし梱包する。

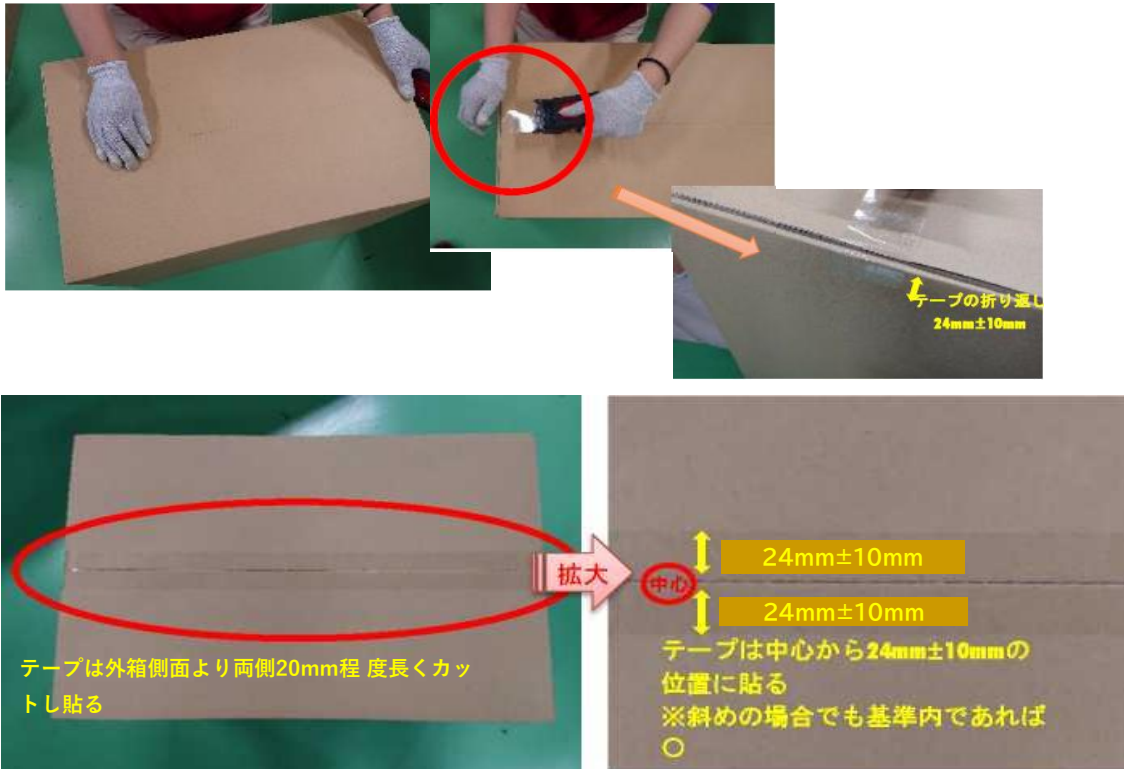
※緩衝材は紐で結束された状態で配布され競技中に紐を解き使用する。

- 1 化粧箱 身に小箱が入った中箱を入れ、蓋をする。
これを4ケース作成する。



2 外箱を組み立て、底部を包装テープで貼り、封をする。

①外箱の底部を組み立て、中央部に包装テープを貼り、封をする。

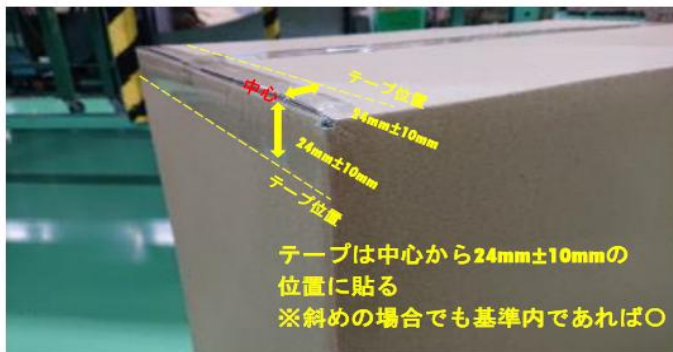
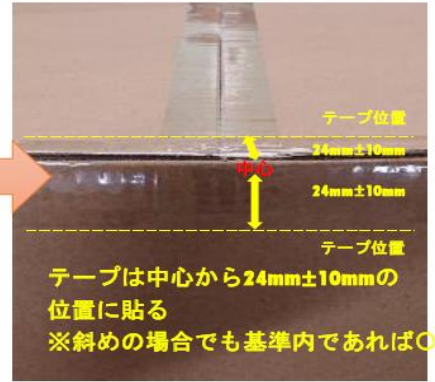


②外箱の側面側に包装テープを貼る。

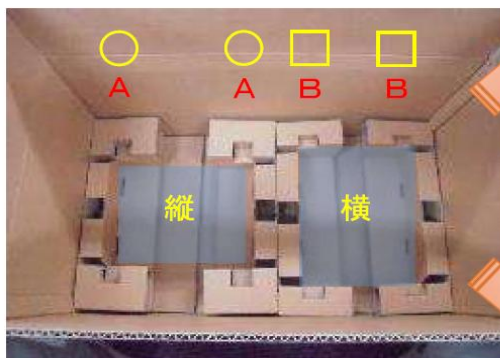




拡大



- 3 底部に封をした外箱の中に緩衝材を○または口が外側になるように各2個ずつ設置し、化粧箱に入れる。



※緩衝材A側には化粧箱を縦に設置する



※緩衝材B側には化粧箱を横に設置する

- 4 底部緩衝材と同じ緩衝材を向き合うようにそれぞれ設置する。



- 5 外箱の上部を折り、敷き紙の上に置く。
※上部はテープを貼らないこと。



- ※敷き紙は床に設置し、製品を置く際は製品が敷き紙から、はみ出さないようにすること。
※敷き紙には製品以外の物を置かないこと。